



冬の猪苗代湖と磐梯山

頌春

年頭所感

汗を流し地域に貢献

価格偏重から品質重視へ

明けましておめでとう
ございます。

平成二十年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

昨年、本協会は節目となる創立五十周年を迎えることができました。

昭和三十二年八月、県内の電気設備工事業者四十一社が相携えて、「会員企業の社会的地位の向上と経営の安定化、並びに技術力の研鑽に励み良質な電気設備の施工を通して社会に貢献する」とを目的として発足し、以来、幾多の社会情勢の変化に対応しながら、公益法人としての使命達成と電気設備の施工を通して社会資本整備に尽力し、地域社会の振興発展に寄与することが出来ましたのも、偏に関係行政機関をはじめ関係団体、関係各位の格別なるご指導、ご支援の賜物でありま

さて、私達を取り巻く環境はどうかでしょうか。

拡がる一方の格差

国の方針により、大都市と地方、大企業と中小企業間の格差は拡がる一方です。

福島県においても、中央との格差が拡がっております。公共投資の抑制により土木総事業費は、平成十年度をピークに現在は三分の一にまで減少、平成二十年度は、昨年度より一五％削減との報道もあります。



社団法人 福島県電設業協会 会長 大槻賢彌

果たして、この疲弊した建設業界に若者が将来を託す事が出来るのでしょうか。中央大手企業を除いては、甚だ疑問です。痛んでいる建設生産システムの回復を早急に進めなくてはなりません。

私は、地域社会と密に共存する地元企業が生き残り、若者が希望を託す事が出来るよう次の八点を提案します。

- ①入札制度の改革（価格偏重からの脱却）
- ②各企業が持っている共通部門をアウトソーシング

ダンピングの排除を

県内の建設業界が疲弊している重要要因の一つが、公共工事における予定価格の事前公表です。積算を無視したダンピング行為の目安にされ、真面目な業者も採算を度外視した受注に走らざるを得ず、業界全体に悪影響を及ぼしています。

謹賀新年
本年も相変わらぬご指導
ご支援をお願いいたします
社団法人 福島県電設業協会

十一月二十八日には、総務部政策監へ要望書の提出、そして十二月二十六日には総務部長との意見交換会を行いました。要望内容は、欠くことのない次の五項目です。

- ① 予定価格の事前公表中止＝ダンピングの目安となる不安要因の排除
- ② 入札参加資格審査の事前実施＝不適合業者の排除
- ③ 総合評価方式（条件付）の導入＝価格要素と非価格要素との比率を一对一とする
- ④ ダンピング排除に向けた低入札調査制度＝調査基準価格の引上げ（目標八五％）
- ⑤ 施工体制確認形方式の導入＝低入札調査制度との併用により、ダンピングの防止と不適合業者の排除

今後とも機会あるごとにこうした主張を行っていく考えです。

これからの電設業界は、会員同一一致団結して生きるために知恵を出し合い、汗を流して地域社会に貢献する事が最重要だと思えます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

National

2灯の明るさを1灯で。

従来器具 FLR40W×2灯 = WECO G-Hf63W×1灯

「省エネ」「省資源」を高いレベルで実現する
次世代スタンダード照明、誕生。

WECO 基準対応 環境配慮型照明器具

オフィス向け埋込器具 / 工場向け直付器具

ブレンタイプ / マルチコンフォートルーバタイプ / 天井取付タイプ / レースウェイ取付タイプ

埋込 FX619CA WF9 / 埋込 FX619MA WF9 / FSA61000F WF9 / FSA61200F WF9

○WECOに関する詳しい情報はこちらからご覧いただけます。biz.national.jp/Ebox/weco/
〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 松下電工(株)福島営業所 TEL.024-939-7731 松下電工

電設新聞

発行所
社団法人 福島県電設業協会
発行人 大槻賢彌
〒960-8114
福島市松浪町9-6
(福島県電協会館)
TEL (024) 533-6226
FAX (024) 533-6235

編集印刷 南福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
驚きの高効率
T.LEDs

E-CORE
高効率LEDダウンライト【イーコア】

照度 265lm / 消費電力 50lm/W / 色温度 4000K

東芝ライテック株式会社
http://www.ilt.co.jp/
郡山営業所 TEL (024) 922-5511

活力ある ふくしまを目指して

福島県知事 佐藤 雄平



新しい年の初めに当たり、県民の皆さんの御多幸を心からお祈り申し上げます。

知事に就任して以来、この一年、県内各地域の皆さんや各市町村長をはじめとした多くの方々との意見交換を重ねながら、さまざまな課題に全力で取り組んでまいりました。皆さんの御支援、御協力に改めて感謝申し上げます。

今年、県政の基本方針である、「活力」に邁進し、中山間地域をはじめとした地方の置かれた状況には厳しいものがあります。私には、「地方の発展なくして日本の発展はない」との信念の下、大都市部と地方の格差の是正を一貫して主張し、地域の自立的な発展につながる取り組みを進めてまいりました。

人口が減少に転じ、特に過疎・中山間地域をはじめとした地方の置かれた状況には厳しいものがあります。私には、「地方の発展なくして日本の発展はない」との信念の下、大都市部と地方の格差の是正を一貫して主張し、地域の自立的な発展につながる取り組みを進めてまいりました。

今年、県政の基本方針である、「活力」に邁進し、中山間地域をはじめとした地方の置かれた状況には厳しいものがあります。私には、「地方の発展なくして日本の発展はない」との信念の下、大都市部と地方の格差の是正を一貫して主張し、地域の自立的な発展につながる取り組みを進めてまいりました。

住・二地域居住の推進、観光の振興、県産品の販路拡大を積極的に進めてまいります。また、昨年合奏や合奏、陸上競技など文化やスポーツの分野での県人の活躍は、福島県民に誇りや活力を与えてくれました。三月の「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」、十月の「全国生涯学習フェスティバル」をはじめ、文化やスポーツの振興による地域づくりを進めてまいります。

次に、「安全・安心」の基盤づくりを進めるため、地震などの自然災害や事故への速やかな対応、民間との連携の下、医師不足対策をはじめとした地域医療の確保になお一層取り組んでまいります。また、原子力発電所の安全性確保や安全規制体制の強化を国、事業者に強く求めていくなど、安全に安心して暮らせる環境づくりに引き続き取り組んでまいります。

さらには、「思いやり」の心が息づく、安心して子どもを生み育てることのできる環境の整備、知・徳・体のバランスのとれた本県の未来を担う人づくりの推進に努めてまいります。昨年単独の国立公園となった尾瀬や裏磐梯に代表される本県の美しい自然を次世代に引き継ぐために、地球温暖化防止対策をはじめ環境保全にも積極的に取り組んでまいります。

真に活気に満ちた福島県にするためには、県民の皆さんが地域に誇りと愛着を持ち、人と人との信頼関係を築きながら、温かな地域社会を創り上げていくことが最も大事であると考えております。県民の皆さん一人一人の力が、豊かで明るい福島県づくりの大きな原動力になるものと、大いに期待をいたしております。

私も、徹底した行財政改革に取り組みながら、皆さんとともに、幸せを実感できる豊かな福島県を目指して、全力で取り組んでまいります。県政運営に対する一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新たな支援策検討 県総合設備協会 大槻会長が委員に 県建設業審議会はじまる

本県建設業の課題を審議する県建設業審議会が、十二月二十五日に県庁で開かれた。

委員には大学教授などの学識経験者をはじめ発注者・建設工事の需要者（婦人団体、農業団体の代表、三島町長）、それに建設業者の代表として（御県建設業団体連合会の三瓶英才会長、県総合設備協会の大槻賢彌会長（当協会会長）ら四人を含めた十四人が委員に委嘱された。

建設業審議会招集の背景には、建設業が本県の基幹産業であり、本来の社会資本整備に加えて、災害対応や雇用の受け皿として地域を支える重要な役割を担っているが、現在、国と地方の基礎的財政収支の悪化に伴う公共事業の大幅な削減や、入札制度改革などにより、建設市場における競争が激化し、県内建設業が置かれている環境はさらに厳しいこと。また、倒産やリストラが地域に及ぼす影響も今後ますます大きくなること懸念

果たすべき役割について答申を行う。

第一回目の会議では、内堀雅雄副知事が「入札制度に関しては、基本方針を出して一年が経過している。一連の事件により失った県民の信頼を回復するべく、清廉で公正な県政の実現に向けて全力をあげて取り組んでいきたい。」

今年十月までに七回の開催を予定しており、諮問事項である①建設業の担うべき役割②建設企業の経営強化③魅力ある建設業の創出④行政の



昨年12月25日に開かれた建設業審議会

ご意見をお寄せ下さい

社団法人 福島県電設業協会
〒960-8114 福島市松浪町9-6
TEL(024)533-6226 FAX(024)533-6235
E-mail:info@fukudensetsukyo.or.jp
URL:http://www.fukudensetsukyo.or.jp

人と環境を明日につなぐ、
ニノテックのシステムエンジニアリング

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック
代表取締役社長 樽川次男

本社/〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL(024)935-1700 FAX(024)935-1706

拠点/仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器具・空調機
オール電化品・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社
福島支店

TEL(024)959-6060
FAX(024)959-6066

ディーゼル発電機 ガスタービン
コージェネレーションシステム

ヤンマーエネルギーシステム株式会社
いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一
TEL(0246)581-5811
FAX(0246)581-5688

地域産業の振興と明るく豊かな
社会づくりを目指しています。

OKADA
電気設備機器と住宅設備機器のコーディネーター

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL(0246)25-6111 FAX 25-6101

営業所

白河	TEL(0248)27-3385代
須賀川	TEL(0248)72-7136代
須賀山	TEL(024)952-5455代
郡山南	TEL(024)923-3298代
郡山北	TEL(024)939-3081代
津	TEL(0242)37-2660代
町	TEL(0244)22-5105代
馬	TEL(0244)35-1234代
福島東	TEL(024)546-3700代
福島南	TEL(024)553-1181代
いわき	TEL(0246)28-6111代
勿来	TEL(0246)62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・新潟
電材営業所 35ヶ所
住設建材営業所 9ヶ所

支部長の年頭所感

福島支部

最新の技術を習得

福島支部長

大室 功



建設業関係業界は、民間工事におきましては、受注量減少で過当競争の状況は変わらず、業界を取り巻く経営環境は、景気の回復も期待できない状況下で、公共工事の極端な減少により工事の受注確保が大変厳しい中、一般競争入札が導入され価格のみの競争となり低入札が横行している状況では、品質管理、人材育成が困難な現状でござい

希望の持てる社会へ

白河支部長

石川 巨



白河支部長 石川 巨 白河支部長 石川 巨 白河支部長 石川 巨

白河支部長 石川 巨 白河支部長 石川 巨 白河支部長 石川 巨

五十年の歴史を糧に

郡山支部長

増田 穂積



郡山支部長 増田 穂積 郡山支部長 増田 穂積

郡山支部長 増田 穂積 郡山支部長 増田 穂積

今年も よろしくお祈りします



能力を身に付け、工事の受注に結びつく様に各社企業努力を重ねて頂き、経営の安定に努めて頂き、今年一年の益々の隆昌とご多幸を、ご祈念申し上げましてご挨拶と致します。

私達もただ競争に走るのではなく、各自が社会



坂本 幹夫

時代の要求に対応

いわき支部長

坂本 幹夫 坂本 幹夫 坂本 幹夫

活動に磨きをかけて

相双支部長

八巻 正隆



相双支部長 八巻 正隆 相双支部長 八巻 正隆

相双支部長 八巻 正隆 相双支部長 八巻 正隆

原点に返って行動

会津支部長

佐藤 修一



会津支部長 佐藤 修一 会津支部長 佐藤 修一

会津支部長 佐藤 修一 会津支部長 佐藤 修一

2008年 年男

【昭和11年生まれ】 支部・常興電機(株)
 ▽吉田茂重(郡山支部) ▽佐藤修一(会津支部)
 ・中野電工(株) ▽会津電機(株)
 【昭和23年生まれ】 ▽佐藤長喜(会津支部)
 ▽壁谷沢忠夫(郡山支部) ▽佐藤電設
 部・(株)エディソン) ▽和35年生まれ】
 ▽先崎元勝(郡山支部) ▽渡辺久剛(福島支部)
 ・東新電気工業(株) ▽中央電機(株)
 ▽浅川誠吾(白河支部) ▽阿部展才(相双支部)
 ・(株)浅川電設) ▽相双電気(株)
 ▽荒川精一郎(いわき)



子 御慶

今後の繁栄を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

地域に活力を生む 基盤づくりに努力

着実に業務を執行

福島県土木部
部長 秋元正國



新しい年を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
一昨年の県発注工事に関わる一連の不祥事を踏まえ、昨年は、公共事業に対する県民の信頼回復に向け、業務の原理・原則に立ち返り、新たなスタートを切るべく、土木部一丸

と、昨年、こまごま取り組んでまいりました。
本年も引き続き、チェック体制の充実やコンプライアンスの確立等に努め、品質が十分に確保された社会資本の整備に向け、着実な業務執行に努めてまいります。と考えております。

さて、昨年は、こまごまの完成、警越自動車道「阿武隈高原SA」三春船引ICの四車線化の完成、主要地方道柳津昭和線柳津町「獅子落洞門(トンネル)」の完成など、本県の発展の基盤となる社会資本整備が着実に進められた年であり

ました。
一方、金山町での土砂災害をはじめ、台風九号などの被害が発生したほか、エレベーターや遊具施設等の事故が全国的に相次いだこともあり、天災・人災ともに県民の安全・安心に対する関心の高まりが感じられた年でもありました。

このよつな中、県民の皆様、市町村、関係団体などから社会資本の整備や改善に関する要望が、毎日のように寄せられており、昨年四月以降だけでも千数百件を超えております。
厳しい財政状況の中、これらすべての要望に対応することは困難な状況にあります。が、事業の実施に当たっては、可能な限りのコスト削減や地域の実情に応じた柔軟な対応など、より一層の創意工夫に努めながら社会資本整備を推進してまいります。と考えております。

特に道路につきましても、県内を縦横六本の連携軸でつなぐ道路ネットワークの整備が急務であると考えております。今年には国道二八九号甲子道路が開通する予定であり、県南地域と南会津地域とを結ぶ強力な南部軸が形成されることから、それぞれ地域への経済波及効果が期待されるところであります。また、あぶくま高原道路についても、平成二十二年度の全線供用を予定しており、これらの事業等を

を重点的に実施してまいります。
安全・安心の仕組みづくりですが、引き続き、水害対策、土砂災害対策、地震対策など多発する災害に強い施設整備の推進を図るとともに、通学路の安全対策、建築物の耐震対策、生活に密着した施設の改善、施設の長寿命化対策などに着実に取り組んでまいります。

また、観光の活性化につながる社会資本整備として、「地域自立・活性化交付金」を積極的に活用しながら、平成十九年に計画承認を受けた相双地域に引き続き、他の県域についても整備計画を策定し、道路や河川などの社会資本整備について計画的に推進する考えであります。

本年も大変厳しい環境にはありますが、社会資本整備の目的は、県や地域の活力を生み出す基盤の充実にあり、県民に利用されて



県立勿来工業高校生

電気設備の仕事を経験

インターンシップの感想文

県立勿来工業高校電気科二年生は、昨年も当協会いわき支部の会員企業でインターンシップ(職業体験)を行った。それぞれ現場実習やCADによる設計、見積などの業務を体験した。その中から、クレハ電機(株)、常盤電設産業(株)、岩電気工事(株)で職業体験を行った三名の生徒の感想文を掲載します。



電気科2年 飯田 龍太郎

インターンシップを行う前は、緊張や不安で一杯でした。電気関係の仕事は、正直、電柱の整備や建物の配線だけの仕事だと思っていました。

インターンシップ初日、浜田社長さんや影山さんに三日間の内容と電気工事士業の内容を聞き、やる気ができました。午後には、担当の田山さんと現場見学に行き、実際の電気工事士の作業を見させてもらいました。

インターンシップ二日目、高桑さんの指導のもと、CADを体験しました。最初は難しいと思っ

ていましたが、高桑さんの指導でなんとか時間内に終わったので良かったです。しかし、足りない部分があったので、高桑さんにもう一度フロップ

ーを使い、修正したいと思いを。インターンシップ最終日、担当の影山さんと昨日作成した図面の見積りの作成をしました。見積りと聞くと難しいと言っていました。

インターンシップ最終日、担当の影山さんと昨日作成した図面の見積りの作成をしました。見積りと聞くと難しいと言っていました。

三日間お世話になりました。CADによる電気設備設計図の作成、電気工事士業の内容、大変さ、見積り作成などを学び、今回のインターンシップで将来のことを深く考えることができました。今

会社へ行くのは初の体験だったので、会社にはどんな人達がいるんだろう、自分は会社の人達に迷惑を掛けてしまわないかと、色々考えて緊張してしまっていたので、前日の夜は全然眠れませんでした。

初日、緊張しながらも出社すると、社員の方々は、とてもいい人ばかりで、みんな気軽に声を掛けてもらえたので、すぐに馴染むことができました。

二日目は、工事部長の車に乗り、現場を見て回りました。実際にパイプ曲げもさせてもらいました。また、高所作業車に乗せてもらい、とても良い体験ができました。



電気科2年 佐藤 裕之

備設計図の作成、電気工事士業の内容、大変さ、見積り作成などを学び、今回のインターンシップで将来のことを深く考えることができました。今

三日目は、積算の実習をしました。その中でこのケーブルはいくらでこのコンセントはいくらで、と計算していく内にとても楽しくなってきました。

三日間は、積算の実習をしました。その中でこのケーブルはいくらでこのコンセントはいくらで、と計算していく内にとても楽しくなってきました。

一回は岩電機工事(株)で三日間お世話になりました。出社前日には、期待と不安が少しありましたが、一日目は、倫理学の勉強をしたり、ロジカルシンキングというのをしました。また、電気についても詳しく説明してもらいました。特にロジカルシンキングでは、物事を深く考える、ということでも面白かったです。

二日目は、CADをやりました。はじめは自分の理想のマイホームを紙に描いてから、行いました。あまり慣れていない

三日間は、午前中にCADの続きをやり、午後から現場に行きました。CADの方は、多少形になったところで終了しました。現場では、はじめは少し緊張もありましたが、少し緊張もありませんでした。迷惑をかけないようになど、気を抜かないように心掛けました。現場の皆さんはとても優しく接してくれました。

三日間を通して、仕事の大変さが改めて分かりました。仕事をすることによって、考え方が変わってきたと思います。



電気科2年 高萩 朋秋

今回私は岩電機工事(株)で三日間お世話になりました。出社前日には、期待と不安が少しありましたが、一日目は、倫理学の勉強をしたり、ロジカルシンキングというのをしました。また、電気についても詳しく説明してもらいました。特にロジカルシンキングでは、物事を深く考える、ということでも面白かったです。

二日目は、CADをやりました。はじめは自分の理想のマイホームを紙に描いてから、行いました。あまり慣れていない

三日間は、午前中にCADの続きをやり、午後から現場に行きました。CADの方は、多少形になったところで終了しました。現場では、はじめは少し緊張もありましたが、少し緊張もありませんでした。迷惑をかけないようになど、気を抜かないように心掛けました。現場の皆さんはとても優しく接してくれました。

三日間を通して、仕事の大変さが改めて分かりました。仕事をすることによって、考え方が変わってきたと思います。

地域貢献の評価を

県建設業団体連合会
県民連合に要望を行う

（仙居建設業団体連合会および仙居建設業協会は、十二月十四日に県議会の県民連合会入札制度等検討委員会に対して、地域貢献度を反映させた総合評価落札方式の早期実施や予定価格事前公表の廃止、最低制限価格の引き上げなどを要望した。当協会から大槻賢彌会長が出席した。
検討委員会には県建設業連の正副会長、県建設業協会の理事らが出席し、三瓶英才会長が安瀬全孝委員長に要望書を手渡した。
まず、安瀬全孝委員長が「業界の皆さんの地域貢献が報われるよう公正

で透明性ある入札制度を真剣に検討し、県政に反映するため提言していく」とあいさつした。三瓶会長は「競争すること決して否定している訳ではない。問題なのは予定価格の事前公表や安ければ本当に良いのかを考えると。地域とともに我々も生き伸びていけるような見直しをお願いしたい」と理解を求めた。
要望では、①公共事業予算の確保②入札制度の見直し③道路特定財源制度の維持および地方への重点傾斜配分、地方自治体に対する補助率の引き上げ④県内進出企業の工場など建設に関わる県内建設業者の活用を求めた。特に入札制度の見直しでは、総合評価落札方式の早期実施や地域要件の重視、予定価格事前公表の廃止、最低制限価格の引き上げ、失格基準の明確化、予定価格の適正化などを訴えた。

ESCOで省エネ

事業者が効果を保証

成功報酬型の事業

ESCO (Energy Service Company) は、省エネ対策によって削減したエネルギー代金から利益を得る成功報酬型の省エネルギーサービス。

既存建築物の省エネルギーを目的に①エネルギー診断②省エネルギー計画③設備改修・運用改善④省エネルギー効果測定⑤管理・運用アドバイス⑥ファイナンスプランなどの業務を一括して行うサービスであり、省エネルギー効果の中から費用を捻出するため、施設

管理者など依頼者の投資負担はない。

基本スキームは、設備使用量プラスアフターフォロー経費をESCOサービス料と呼び、ESCOによるエネルギー削減の中から支払う。ここで言う設備使用料は、導入にかかる工事費のリース用相当であり、アフターフォロー経費とは省エネルギー効果を維持・向上させるための効果測定及びメンテナンス費を指す。

一方、ESCO事業(一括契約)は、包括的なサービスで事業者による省エネ効果保証、工事監理、省エネ効果確認が行われる。

助省エネルギーセンターでは、ESCO事業の契約形態について、ギャ

ランティード・セイビンクス契約(自己資金型)とシェアード・セイビンクス契約(ESCO資金型)を挙げ、両方の形態とも省エネ料を保障することは変わらないが、資金調達や支払い方法、初期投資費用等で違いがある。

具体的な省エネ手法としては、機器類の細かな制御や断熱対策などでエネルギーロスを防止するほか、蛍光灯インバータ安定器や高効率熱源器、高効率トランスの導入による効率向上、外気冷房やソーラーシステムなどによる自然エネルギーの活用がある。また、省

種別契約の検討、さらに各種助成金の活用などがあ

県有施設でも導入

新年度には施設を公募

福島県でも学識経験者、企業関係者、エネルギー事業者、関係団体によるESCO推進プラン策定委員会(座長：渡部弘一、大工部機械工学科准教授)を開催し、調査検討を行い年度内に推進プランを取りまとめることとしている。

これまでにESCO事業者へのアンケート調査を行い、事業導入に係る

平成20年事業展望

次代に継承し得る建築

福島県土木部建築領域

新しい年を迎え、皆様の御多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。

本県の建築行政の推進につきましては、日ごろより格段の御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、能登半島地震、新潟県中越沖地震などの自然災害、エレベーター部材の強度不足やエスカレーター事故など、建築物の安全を脅かす事件や事故が発生した年でありました。平成二十年は、次の

視点から県民の皆様が安全で安心できる建築物や居住環境の確保に向けて、社会情勢の変化や県民の多様なニーズに対応しながら、更なる努力を怠りません。

住宅施策につきましては、本格的な少子高齢社会、人口減少社会の到来という大きな転換期において、県民の豊かな住生活を実現するために策定した「福島県住生活基本計画」に基づき、「持続可能な地域社会形成に資する住まいとまちづくり

を實現するための仕組みづくりを考えてまいります。

また、住宅・建築物に関する相談対応、適切な建築確認業務の推進など、県民の皆様が安全で安心できる建築物や居住環境の確保を目標とした取り組みを進めてまいります。

中心市街地の活性化対策としては、市街地再開発事業等により、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりの実現を支援してまいります。

県民の生命・財産を守る建築物の耐震対策については、「福島県耐震改修促進計画」に基づき、市町村における耐震改修促進計画策定の誘導や民間木造建築に対する耐震改修工

地域循環型の住まいづくり

まず、地域循環型住まいづくりに関する懇談会及び推進会議を開催し、県内各地で循環型住まいづくりを実践している委員、関係業界団体の皆様から御意見をいただき、効果的に地域の資材や人材を生かした住まいづくり

環境性能診断も

さらに、地球温暖化防止対策が急務となつている中、福島県環境共生建築計画・設計指針に基づき、県有施設からの二酸化炭素排出量削減等についての運用改善や改修工事を検

環境性能診断も

討するために、平成二十年度は十八施設の環境性能診断を実施してまいります。

平成二十年の主な営繕工事を紹介しますと、アクアマリン子ども体験館(仮称)が実施設計を終え、工事着手する予定になっております。

今後も「ともに考え、ともにつくる美しい住まいとまち」の実現に向け、県民・NPO・民間事業者・市町村等と連携した住まいづくり・まちづくりを進めるとともに、県有建築物については、次代に継承し得る質の高い建築空間の整備を目指してまいりますので、皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

機能アップ

- ブレーカ探査
- ケーブル探査
- 埋設線探査
- 漏電点探査(死線)
- 回路電圧表示

Superラインチェッカ TLC-C形

T.gami 株式会社 戸上電機製作所 東北支店
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

e-Front runners 豊かな地球社会のために

富士電機水環境システムズ株式会社
北日本支店

仙台市青葉区一番町一丁目3番1号(日本生命仙台ビル)
TEL 022(225)5354(代)

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 渡辺良邦

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
TEL (024)546-1321 FAX (024)546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場/山形・北海道千歳

営業品目 受配電盤・制御盤・監視盤・FAシステム
ビル監視システム・分電盤・開閉器盤

TOWA

東和電機工業株式会社
郡山営業所 所長 蒔苗 聰
福島県郡山市開成5-18-20 〒963-8851
TEL(024)933-3299 FAX(024)934-5178
本社・青森工場 〒038-1216
青森県南津軽郡藤崎町大字榊字和田88-1
TEL(0172)69-5111 FAX(0172)69-5122

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
●入退館システム

■東北支店
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
TEL(022)261-8371(代) FAX(022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎(024)934-0859
FAX(024)934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌

若手技術者が参加

円滑な現場管理へ

県営繕担当職員との研修会

当協会は、十二月二十一日に郡山市のビッグパレットふくしまで平成十九年度県営繕担当職員との技術研修会を開いた。



県側から営繕設備グループの桑山一雄主任主査ら七名、協会側から二十四名が出席した研修会では、新田一則技術委員長が、研修の進め方について説明した上で「今日の内容を現場で生かしたい」とあいさつした後、桑山主任主査と斎藤準氏（大和電設工業(株)現場代理人）を座長にこれまで準備してきた項目について検討に入った。

快適な環境づくり

(社)福島県建設産業団体連合会

会長 三 瓶 英 才

明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかに二〇〇八年の新春を迎えられましたこと慶賀に存じます。

内閣府が十二月六日発表した景気指数によると、景気の現状を示す一致指数が景気判断の分かれ目となる五〇%を七月月間連続で上回り、二〇〇二年二月から始まった景気回復局面が続いているとす

る一方、景気先行指数は低空飛行を続けている。この中で、私共建設産業に目を転じますと、公共事業予算が最も多かった平成十九年度（公共事業施行東北地方協議会資料 精算額九千八百五十九億円）



に比べ、平成十九年度当初予算（同資料・三千百十三億円）は、およそ七〇%の減と激減しております。

このため、仕事量の確保で競争が激化し、赤字覚悟の受注やタンピングが増加、加えて、県の制限付一般競争入札の導入により価格競争に拍車をかける

ところとなり、利益率が悪化するなど厳しい経営を強いられ、自主廃業や倒産が増加しております。

てから監督員と協議するなど、業務の効率化に努めることを確認した。さらに監督員も含めて建築・電気設備・機械設備工事の三者で工事区分の確認を行うことも申し合

対策本部会議開く

自民党福島支部連合会

自由民主党福島支部連合会は、十二月三日に福島市のウェディングエルテ

で入札制度改革対策本部会議を開き、(社)建設産業団体連合会正副会長並びに(社)建設業協会の各支部長らと意見交換を行った。この席では、県

建設連が入札制度改革等に関して要望していた二

ついても率直に意見を交換した。このほか、CALS/ECと電子納品に対する県の取り組み方や総合評

入札制度改革

十二項目について自民党県連が八項目に整理し、副知事に対して要望を行った経過が説明された。この実現に向けた働きかけを行うことが確認された。

会議には、自民党県連入札制度改革対策本部の役員と委員、県建設連の正副会長ら約四十名が出

席、当協会からは大槻賢彌会長が出席した。はじめに橋本克也幹事

長が「入札制度改革の影響が拡大しており、新年度を待つことなく危機感を持ってできることか

ら取り組んでいく」とあいさつしたほか、渡辺敬夫本部長は「通常は、意見を集約して要望していくことである」と決

意を語った。また、県建設連の三瓶

英才会長は「現行の県入札制度は、急場できあ

がったもの。地元業者の倒産も多く地域経済・社会にも影響が出ている。

地域毎の問題や実情を聞いて頂き、この状況の改善をお願いしたい」と述べた。

新聞等マスコミによる

りますと、平成二十年度も公共事業の減少が続

き、国はマイナス三%、県においてはマイナス一五%という報道

も流れており、極めて厳しい状況にありま

す。本県の社会資本の整備状況をみると、

下水道整備率は東北最下位、自然災害等により孤立化する恐れのある集落が三百六十(平成十七年度)、小・中

また、この厳しい建設

業経営環境下、地域の就業場の提供

等の地域貢献を果たすと共に、経営力・技術

力の向上、元請・下請関係の適正化、コンプ

ライアンスの向上に関する機関や団体のご支援

を頂きながら、建設連構成団体一丸となって

取り組み建設産業の発展に努めて参りたいと

編集後記

坂本幹夫

早いもので、もう平成十九年度最後の「編集後記」執筆担当が回ってま

いりました。事務局には原稿も見ないで編集後記

はないよ、とは言ってものシステム上やむを得なく

一年間を通しての雑感です。

また、協会五十周年記念誌の刊行も担当委員の方々の努力により何とか

満足出来る記念誌になったと自負しております。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人 東北電気保安協会

福島事業本部	福島市置賜町1-29	☎(024)528-9366
福島事業所	福島市泉字南谷地5-6	☎(024)557-2161
郡山事業所	南相馬市原町区上波佐字原田432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町福川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市東三坂山2-47	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	☎(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡南会津町田島字南下原66-1	☎(0241)62-4847
須賀川事業所	須賀川市西川字後田78-5	☎(0248)72-9120

電気技術総合コンサルタント！！

自家用電気施設のご相談、お気軽にご相談下さい。

法人 東北電気管理技術者協会

協会本部 / 仙台市青葉区花京院二丁目1-11 プレシザ仙台ビル ☎(022)261-6015

福島県支部	伊達郡川俣町飯坂字戸ノ内5-3	☎(024)566-3087
福島電気管理センター	二本松市油井字津原町42	☎(0243)22-2674
郡山電気管理センター	郡山市日和町字日向84-5	☎(024)958-5203
会津電気管理センター	会津若松市河東町谷沢字十文字53	☎(0242)75-2518
相馬電気管理センター	南相馬市原町区仲町一丁目157	☎(0244)22-2817
白河電気管理センター	白河市東釜子字枇杷山68-3	☎(0248)34-2205
いわき電気管理センター	いわき市明治団地46-5	☎(0246)23-4429

高効率、高演色、省エネのセラルクス！！

セラミックメタルハライドランプ CERALUX

70W・150W・250W・400W

岩崎電気株式会社 http://www.iwasaki.co.jp/

郡山営業所 / 〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

戸部電材株式会社

仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL (022)783-8181

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3丁目12-3	☎(024)553-8551代
■郡山営業所	郡山市大槻町下町東52	☎(024)961-6667代
■いわき営業所	いわき市鹿島町御代一田1-1	☎(0246)76-1055代
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106代
■相馬営業所	相馬市椎木字北原104-1	☎(0244)35-6350代

電設資材全般卸

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL (024)553-4165
郡山営業所	TEL (024)553-4165
相馬営業所	TEL (0244)36-8901
郡山営業所	TEL (024)934-3065
白河営業所	TEL (0248)21-0360
いわき営業所	TEL (0246)75-0700

技術と信用を誇る
電気、機械の総合メーカー！！

DAIZEN

大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL (022) 288-0701代 FAX (022) 288-0705